令和2年度　美作市立英田小学校　学校だより　２月号

共に 伸びる 英田っ子

～かしこく・やさしく・たくましく～

あたまをはたらかせ、進んで学習する子（知）　いのちを大切にし、進んで運動する子（体）　だれとでも仲良くし、進んでやさしくする子（徳）

次のステージに向かって

3学期も、早、2月を迎え、次の学年に向けてまとめと準備の時期を迎えています。子どもたちは、英田小検定や各教科のまとめの単元で各学年の学習内容の定着にも取り組みます。また、学校内では、保護者・地域の皆様からいただいた意見も踏まえながら、今年度の教育活動を振り返り、来年度の教育活動の計画をたてています。

【3年生が上学年のクラブ活動の様子を見学】

【GIGAスクールの設備導入】

昨年末から各教室にWi-Fi機器が整備され、児童数分のタブレット端末が導入されました。「ID・ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ」の入力などの様子を目の当たりにすると、学校も、社会の一構成員であることを強く感じさせられます。今後、各学年の実態を踏まえつつ、「知る・考える・交流する・発信する」などの活動で利用し、主体的な学習になるよう取り組みます。

※Wi-Fi等機器設置に係る美作市補助申請を予定されている方は、早めに学校へ提出してください。

【やさしさのバトンパス　1月25日（月）児童朝礼での話】

「同級生」だけでなく、下学年にも心を配る上学年のやさしい姿を紹介します。そして、『やさしさ』は人から人へ繋がることについて考えてもらいたいです。

（その１）お昼休みにグラウンドから外に出た人がいました。それを見ていた5年生の人たちは、すぐに職員室に伝えてくれる女子、そして、追いかけ、連れて帰ってくれた男子と役割分担をして動いてくれました。何人もの人が『下学年に関心』を持ってくれていたんだと感じました。

（その２）避難訓練前のグラウンドで6年生の男子が、「寄せて！」と言った2年生を気持ちよくサッカーに入れてくれていました。2年生の『サッカーをやりたい気持ちを大切に考えて』くれたんだと感じました。

（その３）雨の日の通学路で、部品がはずれ、困っている1年生の傘を自分が濡れているのも気にせず、『懸命に直して』くれる3年生の人がいました。

他者に対して、無関心にならないやさしい上学年の姿に「ありがとう」を伝えたいです。

英田小学校では、これまでも、こんなふうに、上学年から下学年に、やさしい気持ちをバトンパスしてくれているのですね。やさしさをありがとう。

【・・・そんなやさしい6年生に感謝の気持ちを伝えるために】

来年度のリーダー5年生の計画で、『6年生を送る会』に向けた活動がスタートしています。在校生のありがとうの気持ちを「ぎゅっ」と詰め込んで素敵な会になるよう取り組みます。

（プレイバック6年生より　6年生も1年生の時がありました）　【令和3年2月1日校長作成】